

災害歯科支援チームとして、 すること・できること

2024年5月23日(木) 19時-21時

長崎県歯科医師会館 5階講堂

東北大学 大学院歯学研究科 国際連携推進部門 世界展開力強化事業推進室 特任講師
東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 救急災害医学分野 非常勤講師
東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 健康推進歯学分野 非常勤講師
岩手医科大学歯学部・長崎大学歯学部 非常勤講師
日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人

中久木 康一

nakakuki@biglobe.jp

講義：能登半島地震から学ぶべきこと

- 能登半島地震における歯科支援
- よく聞かれたこと
 - 歯科治療はどこまでやるの？
 - 歯科保健活動はどんなことをやるの？
- 能登半島地震歯科支援対応における
問題点、課題

能登半島の先端の4市町村 = 「能登北部」 医療圏

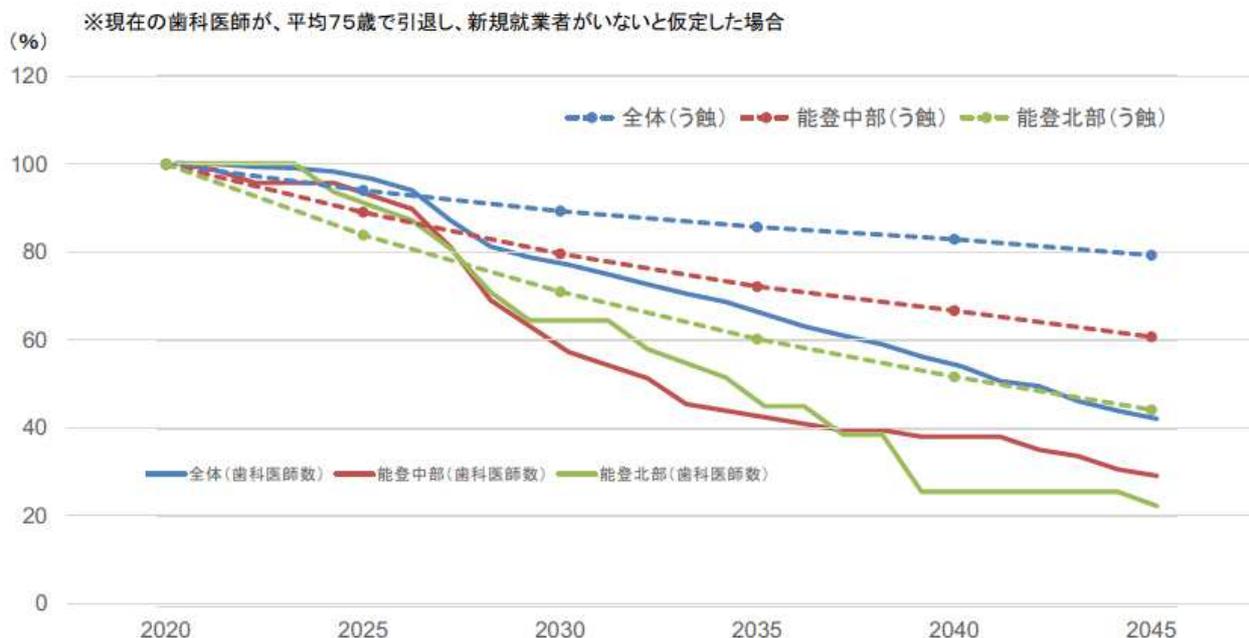
	歯科診療所	人口	高齢化率
輪島市	12	22000	46%
珠洲市	5	12000	52%
能登町	5	14000	50%
穴水町	4	7000	49%

(能登北部医療圏 歯科26、人口6万、高齢化率49%)
(石川県 歯科477、人口111万人、高齢化率30%)

能登地域における歯科医師数の見込み

○ 能登中部医療圏、能登北部医療圏では、現在の歯科医師が、平均75歳で引退して、新規就業者がいない場合、歯科医師数の顕著な減少が見込まれる。

○ 能登中部医療圏、能登北部医療圏における歯科医師数の推計





生きるを、ともに、つくる。
公益社団法人 日本看護協会



公益社団法人
日本栄養士会



公益社団法人 全日本病院協会



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization



Japanese Association for Disaster Medicine



アムダ
Association of Medical Doctors of Asia



HuMA
Humanitarian
Medical
Assistance



T-MAT
Non-Profit Organization



民医連



空飛ぶ捜索医療団
ARROWS
Airborne
Rescue & Relief
Operations
With
Search



災害医療ACT研究所
ACT Institute of Disaster Medicine

「従業員のほとんどは家が壊れていたりとか、まともな状態で生活はしていません。この医院も含めて水道も来ていないところが多く、そうした中で一生懸命自分の職務を果たそうとしてくれています。本当に助かっています」



「とにかく今この状況で患者さんを診させていただいているのは責任感というか、私だけじゃなくほかの医院もそうやって動いていると思います。やっぱりこういう仕事ですので、困っている人が1人でもいるのであれば無理やりにでも開院するっていうのが正しい選択だと思ってやっております」

「詰め物が外れた」「歯が痛いから診てほしい」。1月下旬に一部再開した輪島市の笹谷歯科には連日、患者数人が来院。治療途中で市外に避難した患者の診療相談にも電話で対応する。

笹谷俊郎(ささに・としろう)院長(43)は地震発生以降、市内の歯科医らと県内外から派遣されている「災害歯科支援チーム(JDAT)」の活動に同行し、避難所を巡回して診療に携わった。断水の影響で歯磨きが不十分となったり、入れ歯の掃除ができなくなったりするケースが多発。感染症の他、口腔内の細菌繁殖が主な原因とされる「誤嚥(ごえん)性肺炎」のリスクが高まり、災害関連死につながりかねない。

医院の建物は、地震による損壊を免れていた。笹谷さんは「口腔内の健康を守るのが歯科の役割。地域医療に貢献したい」との思いから、診療の再開に踏み切った。配給された水で治療に必要な水をまかなっている。

断水の輪島で歯科医奮闘 病気予防、口腔ケア重要
共同通信社 2024年2月26日(月)

被災者の皆さまへ

避難所生活で健康に過ごすために

～以下の点にご注意ください～

水分・塩分
補給

① 水分・塩分補給 をこまめに

トイレを気にして水を飲む量が減りがちです。こまめな水分・塩分補給で熱中症予防をしましょう。

② 手を清潔に

食事の前やトイレの後には手洗いを。流水が使えないときは、アルコールを含んだ手指消毒薬を使用しましょう。

手の清潔

食中毒
注意

③ 食中毒に注意!

出された食事はすぐに食べましょう。下痢、発熱、手指に傷がある人は、調理や配食を行わないようにしましょう。

④ 体の運動

エコノミークラス症候群の予防、寝たきりの予防のためにも積極的に体を動かしましょう。

体の運動

うがい
歯みがき

⑤ うがい・歯磨き

うがい、歯磨きをできるだけ行い、かぜの予防、口の中の衛生を保ちましょう。

⑥ 十分な睡眠・休息

誰もが不安を感じています。休息や睡眠を意識してとりましょう。

十分な
睡眠・休息

マスク着用

⑦ 必要などときには マスクを着用

咳をしているときや、アレルギーの原因となるほこり避けるために、必要などときにはマスクを使いましょう。

⑧ 薬で困っている 場合は相談を

薬が手元になかったり、薬で困っているときは、医師、薬剤師、保健師などに相談を。

薬剤
(体調管理)

次の方は避難所の事務所に申し出ましょう

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

妊娠中の方

マタニティマークをつけた妊婦さんにご配慮をお願いします。

産後の方・小さいお子さまをお連れの方

病気などで特別な食事の配慮が必要な方

妊産婦・乳幼児
特殊食品

よく聞かれたこと

- 歯科治療はどこまでやるの？
- 歯科保健活動はどんなことをやるの？

歯科治療はどこまで？

- 武器が無いと戦えない
- 義歯の修理くらいでOK
- 電気は使えない前提でポタ電で動く程度に
- 仮封・仮着は、するならなるべく強めに
- 治療の記録は(その日の)本部によりけり、災害時診療録を求められることもあれば、災害時処方箋を求められることもある

「応急処置」の対応例

基本は「応急処置」+「口腔ケア」+「保健指導」を行う

急性期	・外傷	止血処置が必要な場合
	・抜歯	「誤嚥誤飲」、「重症感染症へ移行」、「摂食障害」などの可能性がある場合
	・根治・切開	疼痛による「睡眠障害」、「敗血症」などの可能性がある場合
	・投薬	「急性症状」がある場合(口内炎も含む)は随時処方
慢性期	・義歯作成	摂食障害で、栄養状態が悪化する可能性がある場合
	・脱離	再セットまたは仮封して紹介
	・虫歯、歯周病	応急処置後に紹介
	・口腔ケア	要介護者などにはアセスメントと口腔ケアを継続

太田秀人, 災害時の歯科保健医療対策(中久木康一・北原稔・安藤雄一編), 一世出版より改変
太田秀人(福岡県歯科医師会)資料より改変

処置と事後対応の判断基準



医療機関	交通手段	処置内容
再開めどなし	無関係	積極的処置
再開準備中 or 再開	なし	相談 → 往診依頼 or 紹介
	あり	応急処置 → 紹介

太田秀人, 災害時の歯科保健医療対策(中久木康一・北原稔・安藤雄一編), 一世出版より改変
太田秀人(福岡県歯科医師会)資料より改変

インフラ等の復旧目安

ライフライン		医療機器		建物	
都市ガス	1か月以上	コンプレッサー	2週間以上	天井	1か月以上
プロパンガス	1週間以上	ユニット	3週間以上	壁	1か月以上
断水	2週間以上	レントゲン	3週間以上	床	1週間以上
停電	数日以上	オートクレーブ	2週間以上	ガラス	2週間以上

- ・診療所の再開 断水の有無と、コンプレッサーの被害の有無が最重要
近年は、訪問診療用ポータブルを活用し「早期再開」傾向
- ・定点診療の検討 歯科医療受療必要率は高くないことから、受け入れ可能な近隣歯科医院の回復状況を把握するとともに、可能な限り巡回診療に留めるように評価することが重要

中久木康一：歯科医院の防災対策ガイドブック。医歯薬出版株式会社。2014年。P43より改変
太田秀人(福岡県歯科医師会)資料より改変

「地元歯科医師が希望する歯科支援」 (例)

「南阿蘇地区歯科支援活動の基本方針」 (歯科支援チーム行動方針)

- 1、「活動目的」=全ては被災者のために、日常を取り戻す
 - 1) 地域住民支援・・・患者をかかりつけ医に戻す
 - 2) 会員診療所支援・・・診療の再開に向け、集中させる
- 2、「活動目標」
 - 1) 誤嚥性肺炎による災害関連死を「ゼロ」にする
 - 2) 誤嚥性肺炎の発症率を「地震前後で同レベル」にする

災害歯科コーディネーターの役割。熊本地震報告書,(一社)熊本県歯科医師会。P61-68より
太田秀人(福岡県歯科医師会)資料より改変

「南阿蘇地区歯科支援活動の基本方針」 (歯科支援チーム行動方針)

3、「役割分担」

地元歯科医師

- 1) 自院を可及的に早く復旧し、通常診療を行う

歯科支援チーム

- 1) 各避難所の歯科ニーズを洗い出す
- 2) かかりつけ歯科医に繋ぐ

4、支援活動の「ゴール設定」

- 1) 避難所での応急処置後、地元歯科医師に歯科ニーズを繋いだ時点で問題解決

災害歯科コーディネーターの役割. 熊本地震報告書,(一社)熊本県歯科医師会. P61-68より
太田秀人(福岡県歯科医師会)資料より改変

歯科保健活動はどんなことを？

- 地域に入っでの歯科保健活動をしたことが無い人が多い！
- 歯科保健活動＝検診、ではない！
- 詳細な方針ツリーが必要か？
- とはいえ、本部の理解、地域の理解、避難所管理者の理解も必要
- JRATとの連携はカギとなっていきそう

「記録」 様式の指定だけ

- 今回、「様式1」と「様式2」の指定がなされた
- 提出日・提出方法は、遠慮からか強く明確にはされず、結果的に、1-2週間後にようやく手元に来たものもあった
- あくまでも、提出書類としてだけの認識とされてしまった
- 現地(市町)本部が無いため、リアルタイムでその場での地域連携が難しかったのは事実
- しかし、次の歯科チームに対する申し送りとしても活用は限定的だった

様式1 (今回の指定)

- 「様式1」は歯科救護所の個人ごとの記録をまとめる、活動報告の用紙
- 本来は、別の様式に個人一人ずつ一覧で記載したうえで、まとめとしてこの様式に記載することとなっているが、この記載方法の指示は無かった(ため書きにくかった)
- 「様式2」はアセスメントを記録する、「計画立案」の用紙
- 本来は、アセスメントが先にあるから、活動があって報告がある、のでは？と考えると、順番も逆

歯科保健医療救護 記録票



歯科保健医療救護報告書

歯科保健医療救護 個別記録票(災害時歯科共通対応記録) 災害歯研 ver1.0

担当歯士・所属: _____ 連絡先: _____

実施日: 月 日() 期: ~ 日()

業務内容: 評価(アセスメント)・相談・診察・治療・個別指導・集団指導・物資提供・その他()

出張場所: 建物・避難所など名 (市町村など名) 避難所種類: 避難所・施設・仮設住宅等・その他()

名前 (集団の場合 は人数)	処置・治療		診察・相談・指導・ケアなど		紹介		摂食嚥下		その他(内容記載 可)事項
	処置	治療	個別	集団	医師	歯科	歯科	歯科	
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

歯科保健医療救護報告書(災害時歯科共通対応記録) 災害歯研ver1.4

報告日: 年 月 日()

※ この用紙は日ごとではなく、出張場所ごとに記録ください

(報告者名・所属:)

(電話番号:)

業務日時	月 日()	活動時間	時 分~ 時 分
(1) 班員名 (氏名・職種)	チーム名(災害時歯科共通対応記録)を記載ください		
(2) 業務内容	対応したものにチェックをつけてください(その他は内容に記載ください) 評価(アセスメント)・相談・診察・治療・個別指導・集団指導・物資提供 その他()		
イ 出張場所	建物など名 (市町村など名) ※ この用紙とは別に、それぞれの出張場所ごとの、「施設・避難所等 歯科口腔保健 ラビッドアセスメント票(集団・迅速)」も、別途記載して、提出してください		
ロ 処置内容 処置人数	対応・処置 実人数: 人(男性 人、女性 人、記録なし 人) (内訳: 18才未満 人、一般成人(18-64才) 人、高齢者(65才以上) 人)		
対応した項目の □にチェックを 入れて、人数を 記載ください	処置・治療など 実人数(計) 人		診察・相談・指導・ケアなど 個別 実人数(計) 人
	<input type="checkbox"/> 口腔外科処置 (人) <input type="checkbox"/> 再発者 (人) <input type="checkbox"/> 歯痛新製 (人) <input type="checkbox"/> 歯肉修整・腫瘍 (人) <input type="checkbox"/> 歯内療法処置 (人) <input type="checkbox"/> 保存修復処置 (人) <input type="checkbox"/> 歯周治療処置 (人) <input type="checkbox"/> 消炎鎮痛・処方 (人) <input type="checkbox"/> その他の処置など (人) ※内容に記載ください	<input type="checkbox"/> 個別 歯科相談・保健指導のみ(口腔内なし) (人) <input type="checkbox"/> 個別 診察説明・歯科保健指導(口腔内あり) (人) <input type="checkbox"/> 個別 口腔ケア指導(口腔のみ) (人) <input type="checkbox"/> 個別 口腔ケアの実施、及び、指導 (人) <input type="checkbox"/> 個別 口腔ケアの実施のみ (人) <input type="checkbox"/> 集団 歯科講話・保健指導・啓発 (人) <input type="checkbox"/> 口腔ケア用品の提供 (人)	
ハ 出張場所の 状況・活動報告 尚や口に関する ことのみ	紹介など 実人数(計) 人		摂食嚥下に関する評価・診察・指導など 実人数(計) 人
	<input type="checkbox"/> 紹介(歯科へ) (人) <input type="checkbox"/> 紹介(内科へ) (人) <input type="checkbox"/> 紹介(その他へ) (人) <input type="checkbox"/> その他の紹介など (人) ※内容に記載ください	<input type="checkbox"/> 摂食嚥下機能アセスメント(RSSST, MWST, FT) (人) <input type="checkbox"/> 摂食嚥下機能の評価(嚥部診察など) (人) <input type="checkbox"/> 摂食嚥下に関する指導(体位、間接訓練) (人) <input type="checkbox"/> 食形態や摂食方法などの指導(直接訓練) (人) <input type="checkbox"/> その他の摂食嚥下に関する対応など (人) ※内容に記載ください	

※ この用紙とは別に、それぞれの出張場所ごとの、「施設・避難所等 歯科口腔保健 ラビッドアセスメント票(集団・迅速)」も、別途記載して、提出してください

歯科保健医療救護 記録票



歯科保健医療救護報告書

歯科保健医療救護 個別記録票(災害時歯科共通対応記録) 災害歯研 ver1.0

担当歯士・所属: _____ 連絡先: _____

実施日: 月 日() 期: ~ 日()

業務内容: 評価(アセスメント)・相談・診察・治療・個別指導・集団指導・物資提供・その他()

出張場所: 建物・避難所など名 (市町村など名) 避難所種類: 避難所・施設・仮設住宅等・その他()

名前 (集団の場合 は人数)	処置・治療		診察・相談・指導・ケアなど		紹介		摂食嚥下		その他(内容記載 可)事項
	処置	治療	個別	集団	医師	歯科	歯科	歯科	
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

歯科保健医療救護報告書(災害時歯科共通対応記録) 災害歯研ver1.4

報告日: 年 月 日()

※ この用紙は日ごとではなく、出張場所ごとに記録ください

(報告者名・所属:)

(電話番号:)

業務日時	月 日()	活動時間	時 分~ 時 分
(1) 班員名 (氏名・職種)	チーム名(災害時歯科共通対応記録)を記載ください		
(2) 業務内容	対応したものにチェックをつけてください(その他は内容に記載ください) 評価(アセスメント)・相談・診察・治療・個別指導・集団指導・物資提供 その他()		
イ 出張場所	建物など名 (市町村など名) ※ この用紙とは別に、それぞれの出張場所ごとの、「施設・避難所等 歯科口腔保健 ラビッドアセスメント票(集団・迅速)」も、別途記載して、提出してください		
ロ 処置内容 処置人数	対応・処置 実人数: 人(男性 人、女性 人、記録なし 人) (内訳: 18才未満 人、一般成人(18-64才) 人、高齢者(65才以上) 人)		
対応した項目の □にチェックを 入れて、人数を 記載ください	処置・治療など 実人数(計) 人		診察・相談・指導・ケアなど 個別 実人数(計) 人
	<input type="checkbox"/> 口腔外科処置 (人) <input type="checkbox"/> 再発者 (人) <input type="checkbox"/> 歯痛新製 (人) <input type="checkbox"/> 歯肉修整・腫瘍 (人) <input type="checkbox"/> 歯内療法処置 (人) <input type="checkbox"/> 保存修復処置 (人) <input type="checkbox"/> 歯周治療処置 (人) <input type="checkbox"/> 消炎鎮痛・処方 (人) <input type="checkbox"/> その他の処置など (人) ※内容に記載ください	<input type="checkbox"/> 個別 歯科相談・保健指導のみ(口腔内なし) (人) <input type="checkbox"/> 個別 診察説明・歯科保健指導(口腔内あり) (人) <input type="checkbox"/> 個別 口腔ケア指導(口腔のみ) (人) <input type="checkbox"/> 個別 口腔ケアの実施、及び、指導 (人) <input type="checkbox"/> 個別 口腔ケアの実施のみ (人) <input type="checkbox"/> 集団 歯科講話・保健指導・啓発 (人) <input type="checkbox"/> 口腔ケア用品の提供 (人)	
ハ 出張場所の 状況・活動報告 尚や口に関する ことのみ	紹介など 実人数(計) 人		摂食嚥下に関する評価・診察・指導など 実人数(計) 人
	<input type="checkbox"/> 紹介(歯科へ) (人) <input type="checkbox"/> 紹介(内科へ) (人) <input type="checkbox"/> 紹介(その他へ) (人) <input type="checkbox"/> その他の紹介など (人) ※内容に記載ください	<input type="checkbox"/> 摂食嚥下機能アセスメント(RSSST, MWST, FT) (人) <input type="checkbox"/> 摂食嚥下機能の評価(嚥部診察など) (人) <input type="checkbox"/> 摂食嚥下に関する指導(体位、間接訓練) (人) <input type="checkbox"/> 食形態や摂食方法などの指導(直接訓練) (人) <input type="checkbox"/> その他の摂食嚥下に関する対応など (人) ※内容に記載ください	

※ この用紙とは別に、それぞれの出張場所ごとの、「施設・避難所等 歯科口腔保健 ラビッドアセスメント票(集団・迅速)」も、別途記載して、提出してください

様式2 (今回の指定)

- 「様式2」(災歯3-2)に記録する前に、先遣隊・初動の後の活動期においては災歯3-3に記録しながら活動して、そのまとめ(災歯3-4)+αを「様式2」(災歯3-2)に記載したほうが書きやすい
- そのような細かいマニュアルもあったほうがよかった(日衛のマニュアルには比較的記載されている)

「様式2」
(今回の指定)

災歯3-2

避難所など集団全体の
歯科口腔保健に関する
環境や状況を評価する
もの

※

個人対応のまとめ

個人対応のまとめで可能

ケア
介助
訴え
症状

施設・避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票 (集団・迅速) 日本歯科医師会統一版

避難所等の名称	避難所等の 登録名称	避難所等の 登録名称
評定年月 月 日	AM	避難所等の 登録名称
避難所等の人数 (16歳未満の子供は別 添付シートで記入)	AM	避難所等の 登録名称
その他 内容	AM	避難所等の 登録名称
避難所に在りて いた避難者数	AM	避難所等の 登録名称
記載者 氏名・所属 職種	AM	避難所等の 登録名称

避難所等の
名称・人数

記載者名等

項目	確認項目 (※確認できれば数値や具体的な内容に記載)	評価	評価基準 (参考)
(1) 歯科保健医療の確保	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1あり, 2なし, 9不明	○	歯科医師の受診機会: ○ あり, △ あり, × ない
特記事項			
(2) 口腔清掃等の環境	a 歯磨き用の水 1充足, 2不足, 9不明 *(具体的に:) b 歯磨き等の場所 1充足, 2不足, 9不明	○ △ ×	刷牙and/or洗面所: ○ 不自由ない, △ おおむねあるが制限はある, × 短期間使える状況である, × ない(使えない)
特記事項			
(3) 口腔清掃用具等の確保	a 歯ブラシ (歯磨用) 1充足, 2不足, 9不明 b 歯ブラシ (乳幼児用) 1充足, 2不足 (約 人数), 3不足, 9不明 c 歯磨き剤 1充足, 2不足 (約 人数), 9不明	○ △ ×	歯ブラシ (成人・乳幼児), 歯みがき, コップ, 歯磨ケ- ス, 洗浄剤: ○ 90%以上が確保, ○70 ~90%, △40~70%, ×40%以下, -不明 (避難者数に対する割合)
※ 主観的におおむねに			
特記事項			
(4) 口腔清掃の介助等の状況	a 歯みがき 1していいそう, 2ほぼしていいそう, 9不明 b 歯磨き剤 1していいそう, 2ほぼしていいそう, 9不明 c 歯磨き剤の介助 1していいそう, 2ほぼしていいそう, 3不要, 9不明 d 歯みがき・歯磨き剤の介助 1していいそう, 2ほぼしていいそう, 3不要, 9不明	○ △ ×	歯や歯肉の清掃, 乳幼児・ 障害・要介護者の介助: ○ 90%以上が確保, ○70 ~90%, △40~70%, ×40%以下, -不明 (避難者数に対する割合)
※ 主観的におおむねに			
特記事項			
(5) 歯や口の訴え・歯肉の腫れ・食事等の問題	a 痛みがある者 1いる (約 人数), 2いない, 9不明 b 歯肉の腫れや歯肉の折れ 1いる (約 人数), 2いない, 9不明 c 食事等で不自由な者 1いる (約 人数), 2いない, 9不明 (前項や他下の機能低下等による) ※ 要介護者の詳細情報 (必要に応じて記入してください)	○ △ ×	痛みあり, 歯肉腫れ, 食事 不自由: ○ 90%以上が問題なし, ○ 70~90%, △40~70%, ×40%以下, -不明 (避難者数に対する割合)
特記事項			
その他の問題	BD 歯科保健医療に関するその他の事項, 避難所のインフラ・衛生状況に関する事項, 施設や設備に関する事項, 施設や設備に関する事項に伝達すべき事項		

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入して下さい。 標準Ver4.1(202402)

日本歯科医師会 歯科衛生士会

(今回の指定なし)
災歯3-3 個人対応

(今回の指定なし)
災歯3-4 個人対応のまとめ

災歯3-3 歯科保健医療 ニーズ調査・啓発・指導 実施票(個別・複数)

実施場所(施設名・建物名): _____ 実施日: 年 月 日 No. _____

実施場所のフロア/コート: _____ 当日の登録人数: _____

実施内容: 歯科検診 歯磨き指導 歯ブラシ指導 その他()

名前	年齢	性別	災害発生時の状況	歯みがきする環境	歯みがきをする時間	歯や口の清潔	歯内歯の必要性	歯科治療の必要性	詳細記載欄	災害発生時の状況	歯磨き指導	歯ブラシ指導	追加対応
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													

災歯3-4 歯科保健医療 ニーズ調査・保健指導実施票 総括票

実施場所: _____ 当日の登録者数: _____ 実施日: 年 月 日 曜日

実施場所のカテゴリ: 避難所 仮設住宅 施設 在宅 その他()

*実施票は複数ある場合(総括表)は日ごと、実施場所や活動ごとに分けて、1枚にまとめてください

【対応者数集計】 (単位:人)

対応	年齢					性別				
	総人数	0~5	6~17	18~64	65~74	75~	不明	男性	女性	不明

【ニーズ内容集計】 (単位:人)

歯科口腔の問題	食事をする時	歯みがきの環境	歯みがきをする	歯や口の清潔	歯科治療の必要性	歯科治療の確保	追加対応
問題ない							要
問題ある							不要

【指導内容集計】 (単位:人)

歯科保健指導	口腔衛生	口腔機能	義歯	歯科治療
実施				

*上記に対して複数の指導を行った場合は全てカウント

【申し送り事項】

申し送り先	内容

【記載者】

所属・氏名: _____ 連絡先: _____

* 本部や関連機関への報告や、記録管理に活用ください。 更新 2024.2

歯科／集団・迅速

災害時避難所等
口腔保健アセスメント票

項目

基本情報

対象者

避難者数
高リスク者数

(1) 歯科医療

歯科保健医療の確保状況

(2) 環境

水・洗口場の確保状況

(3) 用具

歯ブラシ・歯磨剤の確保状況

(4) 行動

口腔衛生行動介助の有無

(5) 症状

痛みや不自由さの有無

その他

施設・避難所等 歯科口腔保健 レビッドアセスメント票 (集団・迅速) 日本歯科医師会統一版

避難所等の名称	避難所等の立地する市町村名	連絡先
評価年月日 曜日 時間 AM/PM 時 分	年 月 日 () 現在 ()	避難所等の連絡先
避難者数 そのうち高齢者(75歳以上) そのうち高齢者(75歳以上)の要介護者	人 () 人 () 人 ()	情報収集法
評価時に在席していた避難者数	人 () 人 ()	
記載者 氏名・所属 職種	氏名: _____ 所属: _____ 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 その他()	
項目	確認項目(※複数でなければ数値や丸)	
(1) 歯科保健医療の確保	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科数確保・確保の確保 1あり, 2なし, 9不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり(定期的) 2なし, 9不明	
(2) 口腔清掃等の環境	a 歯磨き用の水 1充足, 2不足, 9不明 (具体的に:) b 歯磨き等の場所 1充足, 2不足, 9不明 (具体的に:)	
(3) 口腔清掃用具等の確保	a 歯ブラシ(成人用) 1充足, 2不足, 9不明 (人分) b 歯磨き剤 1充足, 2不足 (人分) c うがい用コップ 1充足, 2不足 (人分) d 歯磨き剤 1充足, 2不足 (人分) e 歯磨き剤 1充足, 2不足 (人分)	
(4) 口腔清掃や介助等の状況	a 歯みがき 1していいそう, 2ほぼほぼいいそう, 9不明 b 歯磨き剤 1していいそう, 2ほぼほぼいいそう, 9不明 c 歯磨き剤の介助 1していいそう, 2ほぼほぼいいそう, 3不要, 9不明 d 歯磨き剤の介助 1していいそう, 2ほぼほぼいいそう, 3不要, 9不明	
(5) 歯や口の痛み・歯肉の腫れ・歯肉の出血・歯肉の腫れ・歯肉の出血・歯肉の腫れ・歯肉の出血	a 痛みがある者 1いる (人分) b 歯肉の腫れや歯肉の出血 1いる (人分) c 歯肉の腫れや歯肉の出血 1いる (人分)	
その他の確認	別) 歯科保健医療に関するその他の確認。避難者のインプット・歯肉の腫れや歯肉の出血、歯肉の腫れや歯肉の出血、歯肉の腫れや歯肉の出血に留意すべき事項	

集団生活する「場」としての環境の評価

個人の環境や行動、症状や困りごとなどのまとめ

簡易総括表の評価と優先順位の考え方

・地区名・自治体名

・避難所 or 施設 の種別

1) 支援日程や支援期間の決定

2) 専門医の必要性(摂食嚥下、高齢者など)

3) 派遣人員の数(受療率 約2%?)
歯科医師・歯科衛生士1人当たり 10名/1日?

4) 歯科「医療」対応

・専門医の必要性(摂食嚥下、高齢者など)

・外部支援の必要性

・歯科医師の必要性

5) 歯科「保健」対応

・他職種との連携の必要性

・歯科業者との連携の必要性

・歯科衛生士との連携の必要性

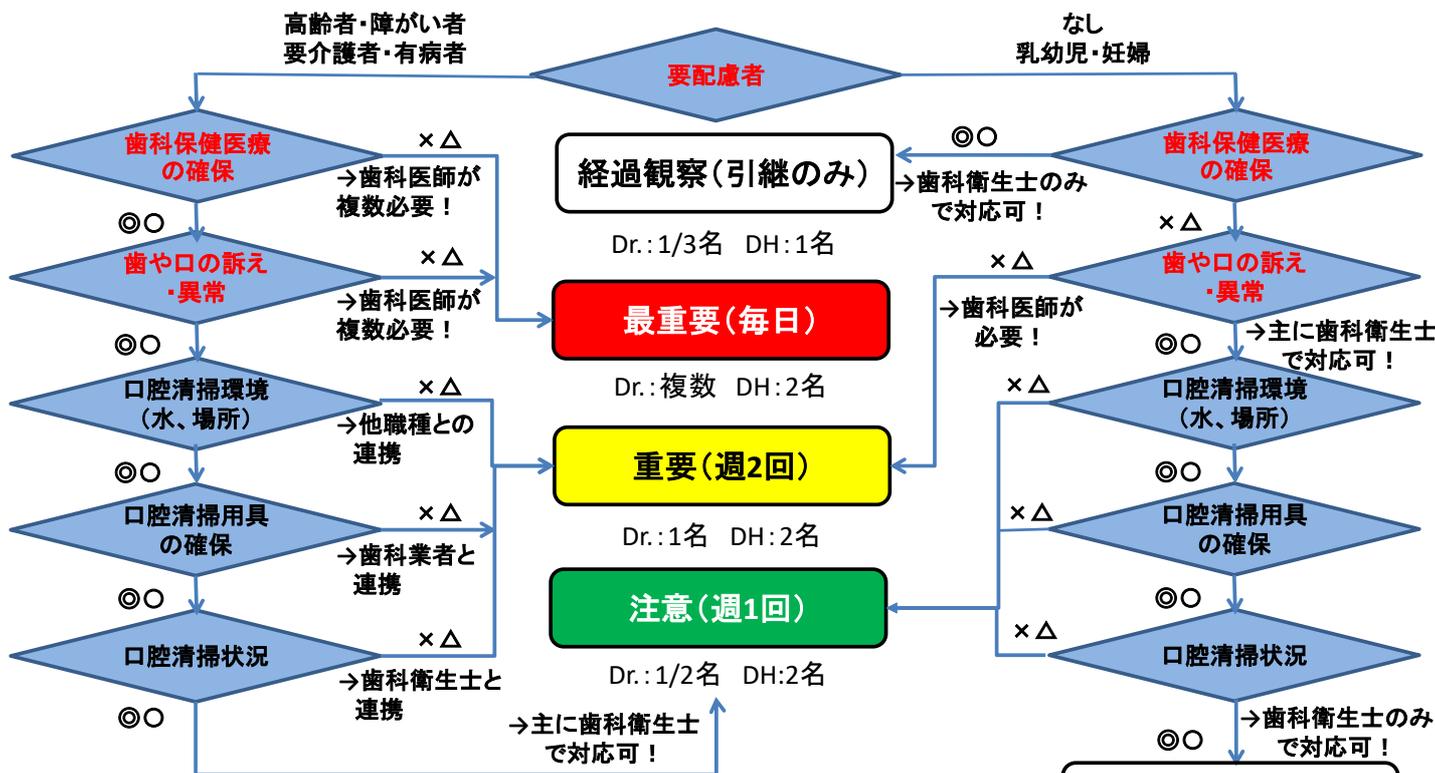
6) (介護)職員・ボランティアの必要性

7) 多職種と連携(ライフラインなど)

太田秀人(福岡県歯科医師会)資料

基本情報		避難所名(≒種別) 登録人数など	
	対象者	口腔衛生に配慮が必要	高齢者・障がい児者 要介護者など
(1)	歯科医療	歯科保健医療の確保	近隣歯科 巡回チーム
(5)	症状	歯や口の訴え・異常	痛みの有無 食事不自由
(2)	環境	口腔清掃等の環境	水、場所
(3)	用具	口腔清掃用具等の確保	歯ブラシ・歯磨剤 義歯関係など
(4)	行動	口腔清掃状況	歯磨き、義歯清掃 介助の有無
その他の問題			

総括表の各項目の優先順位と人員配置の目安



①まず「要配慮者」と「歯科保健医療の確保」を最優先し、優先度を分類

②次に、1日に必要な歯科医師の人数の目安を算出(患者10名/日)

③最後に、1日に必要な歯科衛生士の人数の目安を算出(患者10名/日)

太田秀人(福岡県歯科医師会)資料

記録は「共有」されなければ意味が無い

- 特に「様式2」は、計画立案の用紙だから、活動日ごとに、活動後最優先でまとめて、送って欲しかったが・・・
- 結果的に、申し送りミスに2回遭遇
 - 義歯調整・義歯セット前
- 重要申し送り項目だけ、別途様式(とフォーム)を作って入力してもらおうようにするか
 - しかし、今度は何が重要申し送り項目かがわからないと言われそう

保健/医療→歯科
申し送り票(集団・個別)
(案)

提出先		<input type="text"/>	
歯科相談・対応 希望申し送り票 (保健/医療→歯科)			
避難所・施設名:		記載者	
<input type="text"/>		所属団体名:	
市町村名:		担当者名:	
<input type="text"/>		電話・メール:	
<input type="text"/>		<input type="text"/>	
歯科相談・対応 希望内容			
_____年 月 日() 時 現在			
<input type="checkbox"/> 集団への対応			
<input type="checkbox"/> 歯や口の中が痛い人がいる／歯科治療が必要な人がいる <input type="checkbox"/> 歯を磨けない人がいる／口腔ケアをする人材が足りない <input type="checkbox"/> 口腔ケアグッズが無い・足りない <input type="checkbox"/> 大人用歯ブラシ <input type="checkbox"/> 子供用歯ブラシ <input type="checkbox"/> 歯間ブラシ <input type="checkbox"/> デンタルフロス <input type="checkbox"/> 歯みがき剤 <input type="checkbox"/> 洗口液(マウスウォッシュ) <input type="checkbox"/> 口腔ケアウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 入れ歯用歯ブラシ <input type="checkbox"/> 入れ歯洗浄剤 <input type="checkbox"/> 入れ歯ケース <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 口腔ケア・歯科保健の啓発をして欲しい			
<input type="checkbox"/> 個別の対応			
氏名・連絡先	性・年齢	症状(選択)	症状、希望、通院の可否など(自由記載) * かかりつけ歯科医の情報
Tel:	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 才	<input type="checkbox"/> 歯の痛み <input type="checkbox"/> 歯ぐきや粘膜の痛み・腫れ <input type="checkbox"/> 義歯があわない、壊れた、失くした <input type="checkbox"/> 食べにくいものがある <input type="checkbox"/> 口が乾く・むせる時がある <input type="checkbox"/> その他()	* かかりつけ歯科 <input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無
Tel:	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 才	<input type="checkbox"/> 歯の痛み <input type="checkbox"/> 歯ぐきや粘膜の痛み・腫れ <input type="checkbox"/> 義歯があわない、壊れた、失くした <input type="checkbox"/> 食べにくいものがある <input type="checkbox"/> 口が乾く・むせる時がある <input type="checkbox"/> その他()	* かかりつけ歯科 <input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無
Tel:	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 才	<input type="checkbox"/> 歯の痛み <input type="checkbox"/> 歯ぐきや粘膜の痛み・腫れ <input type="checkbox"/> 義歯があわない、壊れた、失くした <input type="checkbox"/> 食べにくいものがある <input type="checkbox"/> 口が乾く・むせる時がある <input type="checkbox"/> その他()	* かかりつけ歯科 <input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無

災害歯研 Ver1.0 (202401)



- JDAT (日本災害歯科支援チーム)は、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士などによるチームです。
- 避難所や高齢者施設等において、応急歯科治療や口腔衛生の確保・口腔機能の維持をサポートします。



歯科相談 応急歯科治療

近隣の歯科診療所が再開するまでの間、痛みをとる、食べやすくする、などの応急治療を行います。

- 歯が痛い、口内炎ができた
- 入れ歯が痛い、ゆるい
- 歯の詰め物がとれた



歯科保健活動

歯や口のお困りごとなどを確認し、災害時の生活における工夫の仕方をおひとりおひとりの状態にあわせてご紹介・ご説明し、必要な歯みがき用品をご提供します。

災害時のお口のケアが、肺炎などのからだの病気を予防することなども、あわせてお伝えします。

- お水が少ない時の歯みがきの工夫
- お口が乾きやすい時のマッサージ方法



【集団】 お口の健康づくり

皆さんがお集まりの場所で、歯や口からの健康の保ち方をご説明したり、お口の体操をしたりします。

- お口の体操
- 歯や口と健康 講和



地域の歯科医療 提供体制の再構築

地域の歯科診療所の再開状況にあわせて、治療が必要な方を診療所に繋ぎます。

これらの支援を通じて、被災した地域が日常を取り戻すためのお手伝いをさせていただきます。歯や口に関することで、お困りのことやご希望がありましたら、遠慮なくご相談ください。歯みがき用品の提供を含め、全て無料です。

<連絡先> **歯科医師会 ***-***-***

災害歯研 Ver1.1(202405)

ともかく・・・

- 指標は必要かもしれないが、一概には言えない
- かえって、固定概念で突き進むほうが問題が大きくなるので、敢えて明確には伝えられない
- 地域によって、時期(日)によって、違いすぎる
- 派遣地域が急に変わることもある
- 水が通った後に、また断水になることもある
- ある程度幅を持って対応できるように準備を

能登半島地震歯科支援対応における 問題点、課題

- 支援は何のために要望されたのか（支援の目的は？）
- JDATは「チーム」である
- チームごとの派遣期間
- アセスメントを書くも目的
- 活動は、市町村や地域ごとに、更に時期により変わる
- 災害医療と保険診療は違う

支援は何のために要望されたのか （支援の目的は？）

- 宿泊は地元が確保すべき、他の保健医療チームは宿泊させてもらっている
- 偏りなく多くの都道府県から支援に参加できるようにし、経験を持ち帰って活かせるようにすべき
- 雪に慣れていない県の派遣チームを、最北部の市町村に配備するのはおかしい
- 日曜日は支援に行きやすいのに、なぜ日曜日の活動を制限するのか

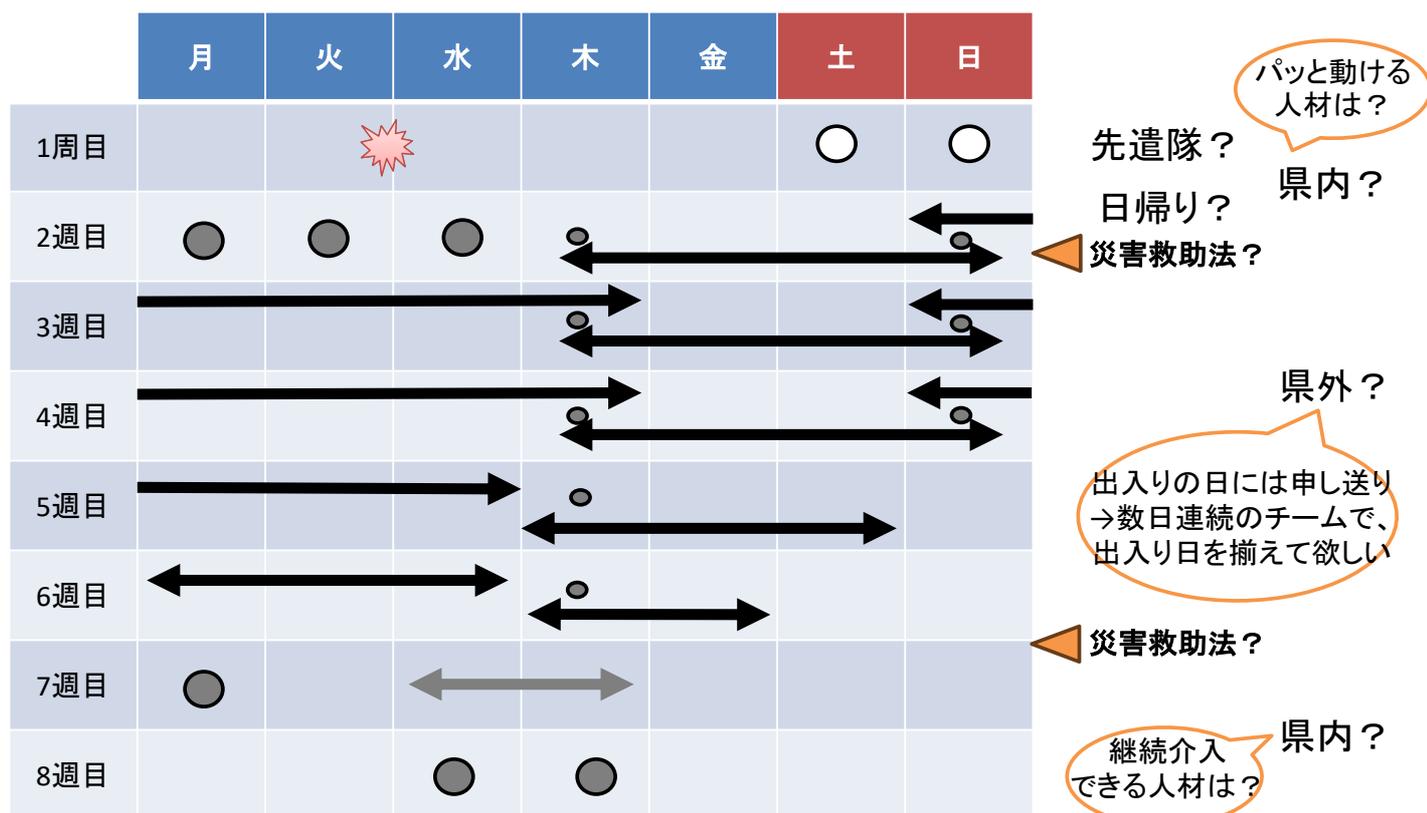
JDATは「チーム」である

- 「チーム」は、役割分担がある、組織的行動をとるものである
- 本来はそのために、養成されたプロフェッショナルであるべき
- ただ、「手あげした人を4人ずつ組みにした」「4人ずつの組みをつくって手あげしてもらった」とは違う
- ルール化が必要
- 派遣直前研修の構築が必要

派遣チームごとの期間

- 他県からの派遣チームの活動期間は3-4日で組んでいたため、他県からの「日帰り」は想定外だった
- 「日帰り」は、自県からのみの想定としていたが、隣県の初動期や復興期はありえる(ただ、活動期は連続数日ありがたい)
- 市町村／郡市歯には本部がおけていない(に近い)場合は、被災県歯の本部に寄ってほしい
- ルール化が必要(連携・共有のため)
- 事例ごとの特徴があるので、「募集前に受援側にとって効果的・効率的な枠組を検討し、募集とともにその枠組みを提示」して、あてはまる場合のみ応募できる形とする

JDAT チーム期間(時期別イメージ)



© 2024 DPHD

アセスメントの目標は？

- 書いて提出するだけのものになってしまった
- 何のために書くのか？次の行動に直結する情報が無ければ意味をなさない
- 明日に活用できるように、その日に共有しなければ意味をなさない
- 多職種連携・地域連携できるように、歯科以外の関係者に共有しなければ意味が無い
- オンラインの入カツールは組んであるが、活用は難しかった

活動は、市町村や地域ごとに、 更に時期により変わる

- 一般には、下記のイメージ
 - 初動期:巡回し、必要時応急歯科診療
 - 活動期:巡回し、保健指導、物資の確認、地域の歯科診療所への繋ぎ
 - 終了前:終了後の、歯科保健活動の現地化への道筋づくり
- 能登半島は広いし、市町村ももともとは合併した違う市町村であり、被災の地域事情も含め、地域ごとにフェーズは違う
- 小さい受け皿に、水をたくさん注ぎこんだところで、机の上にあふれてこぼれて散らかるだけ
- 受け皿があって初めて、提供されるものは活かされるし、周りを汚すことがなくなる

災害医療と保険医療は違う

- 災害救助法・災害時歯科医療救護協定に基づく支援による医療は無償と決められている
- 「発災日に災害救助法の適用市町村に住所を有して」いて、「住家の全半壊、全半焼、床上浸水又はこれに準ずる被災」もしくは「主たる生計維持者が死亡／重篤な傷病／行方不明／業務を廃止・休止／失職し収入がない」の場合は、健康保険料の一部負担金の免除(健康保険法第75条の2)(国民健康保険税の減免は別途申請)
- 患者側の経済的負担は、どちらも同じ
- (避難所への訪問診療も、災害直後に通知が出て認められる)

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 他分野の取り組み > 災害 > 石川県能登地方を震源とする地震について > 「令和6年能登半島地震」で被災された方々の医療機関等での窓口での支払いは不要です

「令和6年能登半島地震」で被災された方々の医療機関等での窓口での支払いは不要です

「令和6年能登半島地震」で被災された方が、医療機関などで診療を受ける際に、医療機関等の窓口で、次の1～5のいずれかに該当する旨を申告すれば、窓口での支払いは不要です。

1. 住家の全半壊、全半焼、床上浸水又はこれに準ずる被災をした旨
※罹災証明書の提示は必要なく、窓口での口頭申告で構いません。
2. 主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負った旨
3. 主たる生計維持者の行方が不明である旨
4. 主たる生計維持者が事業を廃止し、又は休止した旨
5. 主たる生計維持者が失職し、現在収入がない旨

一部負担金の支払いが猶予されるのは、災害救助法の適用市町村に住所を有する方であって、次の保険者に加入されている方です。

詳細は、下記の一覧をご参照ください。

- ・ PDF 医療・介護保険者等（令和6年4月まで） [685KB] [☞](#)
- ・ PDF 医療・介護保険者等（令和6年5月から9月まで） [173KB] [☞](#)

また、共済組合等における一部負担金の猶予等については、下記の一覧をご参照ください。

- ・ PDF 共済組合等（令和6年4月まで） [64KB] [☞](#)
- ・ PDF 共済組合等（令和6年5月から9月まで） [63KB] [☞](#)

介護保険の利用料についても、同様の措置があります。
この取扱は、令和6年9月末までです。

政策について

分野別の政策一覧

健康・医療

福祉・介護

雇用・労働

年金

他分野の取り組み

「年取の壁」への対応

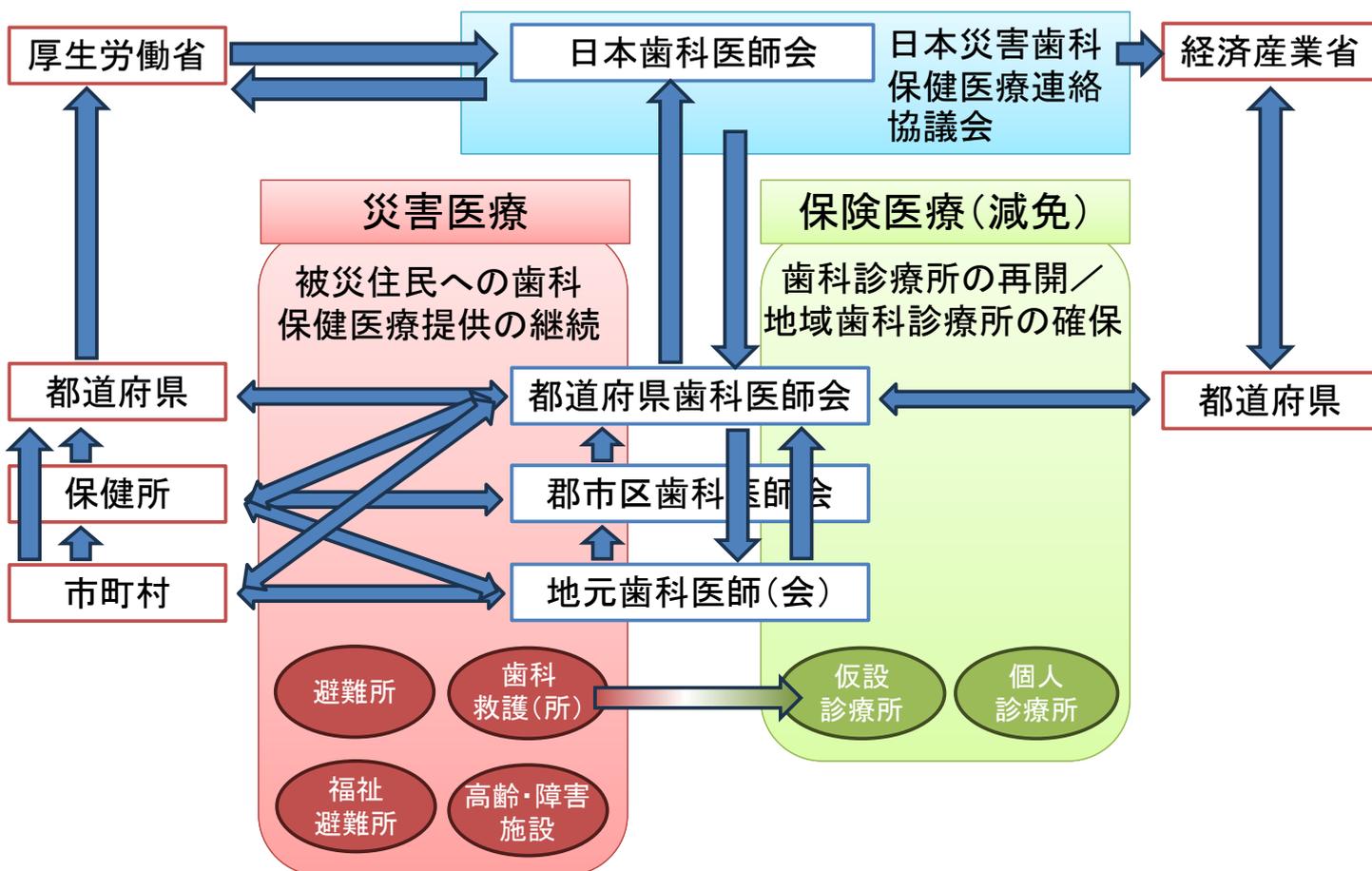
国際関係

研究事業

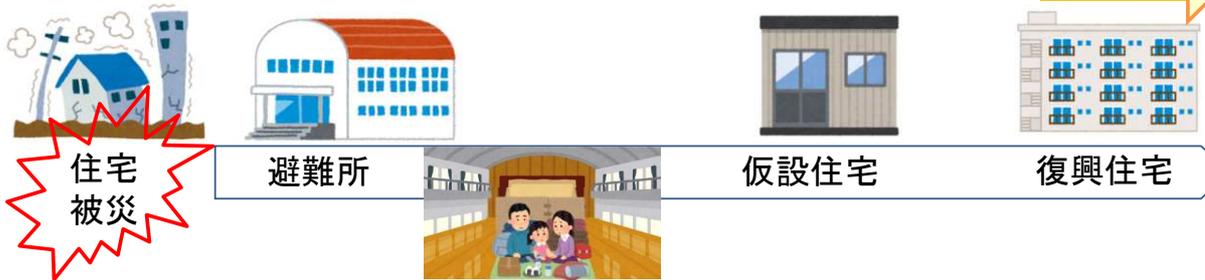
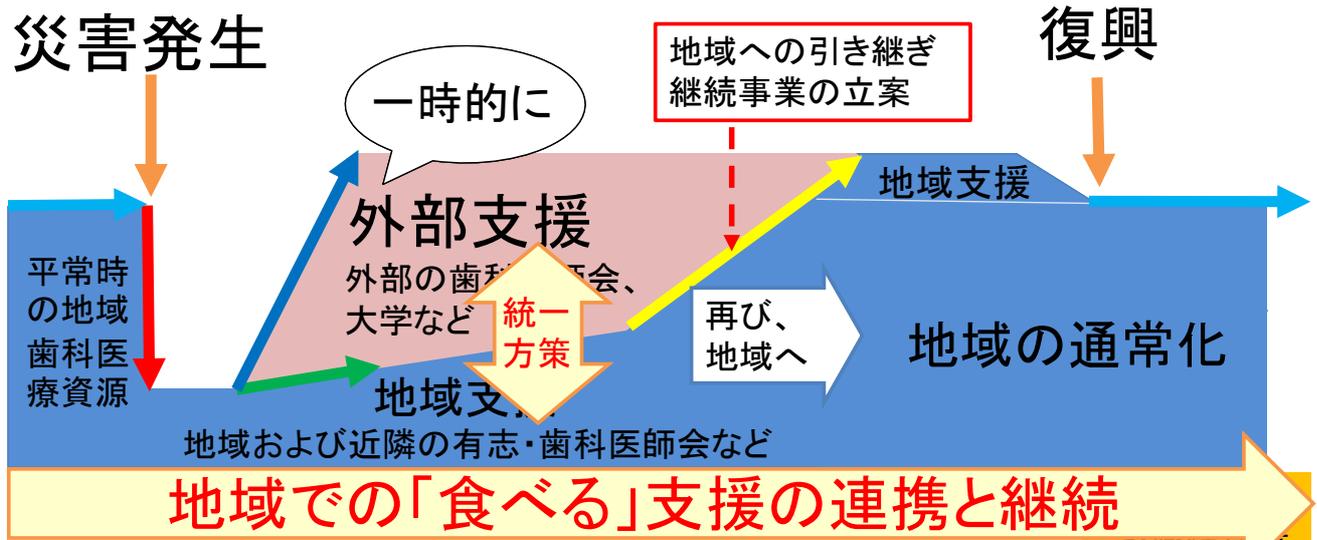
社会保障全般

戦没者遺族等への支援

災害



災害時歯科支援の引き継ぎへの流れ



© 2023 DPHD

歯科保健医療ニーズ調査・保健指導実施票 (個別・複数)

歯審3-3

歯科保健医療 ニーズ調査・啓発・指導 実施票(個別・複数)

作成 2020.2
更新 2023.2
改訂 2024.2

実施場所(施設名・建物名) :		実施日 : 年 月 日		No.
実施場所の 카테고리	当日の登録人数	その他、業務に携わらない歯科生活全般に対する申し込書の取扱いがありましたら、ご記入ください。		記者者 氏名・氏名
<input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> 仮設住宅	※ 複数でも構いません。			記者者 連絡先
<input type="checkbox"/> 施設 <input type="checkbox"/> 住宅				
<input type="checkbox"/> その他 ()				

名前	年齢	性別	食事を摂る時の問題					歯のケアに関する問題		詳細記載欄	啓発・指導内容				追加対応・備考	
			食事を摂る時の問題	歯みがきの頻度	歯みがきの方法	歯や口の清掃	歯科治療の必要性	歯科治療の確保	口内衛生		口腔機能	歯磨	歯のケア			
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
先計																

© 2024 DPHD



ココでそんなことはできないし、「しっかり噛んで食べなさい」って言ってます。

自分の歯もたくさん残っているし噛めるはずなんだけどね～

来週から歯医者さんが来て、食べるリハビリ？とかすることになっていたのよ。

夫 85歳、高血圧、糖尿病、認知症があるため自宅で妻が介護。肺炎での入院は今回が3回目。口腔ケアは妻が担当しており目立った汚れはないが、スポンジブラシが不足。

妻の口腔に問題はなく、セルフケアもできている。

© 日本歯科衛生士会

夫に肺炎の既往がある事例

アセスメント項目	(1) 食事をする時の問題	(2) 歯みがきの環境問題	(3) 歯みがきをする問題	(4) 歯や口の清掃問題	(5) 歯科治療の必要性	(6) 歯科治療の確保問題
内容	嚥下がうまくできない	スポンジブラシが不足	歯みがきは奥さまがしている	目立った汚れはない	無し(嚥下訓練の予定はあり)	かかりつけ歯科医が訪問予定



	食事を する時の 問題	歯みがきの 環境 問題	歯みがき をする 問題	歯や口の 清掃 問題	歯科治療 の 必要性	歯科治療 の確保 問題	詳細記載欄
	佐藤さん	歯などが痛い、食べにくい、食事中のむせ	歯ブラシ・ケア・義歯用品・水や場所の確保	歯みがきできている、介助みがきされている	舌の汚れ・口臭・口の中での汚れ	痛み、義歯紛失等に対する、歯科治療の必要性	近隣の歯科診療所、交通手段、移動の可否など
夫	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	高血圧・糖尿・認知、肺炎既往・嚥下問題あり、スポンジブラシ不足
妻	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	

© 2024DPHD

記載注意

日付、連絡先はきちんと書きましょう

災害3-3

歯科保健医療 ニーズ調査・啓発・指導 実施票(個別・複数)

2024.2

実施場所(施設名・建物名) : ##避難所		実施日 : 20xx年 Y 月 Z 日		No.	
実施場所の категория	当日の登録人数	その他、備考に記入されていない事項は、ご記入ください		記載者	ABC歯科衛生士会 大口 援子
避難所 仮設住宅 施設 住宅 その他	123人	○さんご夫婦の水場への距離について 避難所管理者側に情報提供した		記載者 所属・氏名	080-1234-5678
<p>実施場所・登録人数は抜けやすいので注意!</p> <p>個別ではなく集団(全体)に関わることなど記載</p>				記載者 所属・氏名	080-1234-5678
<p>同時に数人の情報を聞いた場合は、その全員分を記載しましょう 記載内容が多くなった場合、欄を2つ使って構いません</p>				記載者 所属・氏名	080-1234-5678
<p>必要な項目のポイントだけを箇条書きで</p>				記載者 所属・氏名	080-1234-5678
<p>当日、指導がなかった方は、チェック無しとなる</p>				記載者 所属・氏名	080-1234-5678
<p>必要時端的なコメントを</p>				記載者 所属・氏名	080-1234-5678
<p>継続介入の必要性を評価ください</p>				記載者 所属・氏名	080-1234-5678

記載もれがあると集計しにくくなり、更に、必要な支援に結び付かなくなります

© 2024 DPHD

演習

- 想定災害に対するロールプレイ(個別アセスメント)

自分(1)【避難者】

- 自分は被災し、避難所で生活している住民です。

自分(2)【支援者】

- 自分の立場から、JDAT長崎として支援するために派遣された歯科専門職(もしくはロジ)です。

ロールプレイ「個別アセスメント」 流れ

- 2人で1組です
- それぞれ「被災した避難所にいる住民」「自分の立場でJDAT長崎県として支援するために派遣された歯科専門職(もしくはロジ)」の2つの立場を演じます
- ひとりで、「被災して避難所にいる」という自分の想定をつくります
※相談しないでください！
- 5分:Aさん【支援者】がBさん【被災者】に個別アセスメントします
- 5分:Bさん【支援者】がAさん【被災者】に個別アセスメントします
- 5分:2人で振り返りをします

想定災害

- 長崎県内の自分の住む／仕事する地域
- 令和6年能登半島地震のような地震
 - 建物の倒壊などの被害
 - 道路・交通網の寸断
 - 断水(上下水道)
 - 液状化
 - 山崩れ
 - 土砂ダム
- ※ 津波被害は受けなかったものとする

でも、長崎では地震はないじゃん？

- 島原半島ではあり得そう
- 半島部の被災としては能登半島地震は参考になる
- 他県への派遣でも、JDATが派遣されるのは主に地震災害(ライフラインの影響が長期化すること、被災エリアが広いことから、災害関連死が多くなると考えられ、大規模地震においてはその30%弱を呼吸器疾患が占める)
- ならば、地震での被災者への個別アセスメントを模擬経験しておくのが、最も参考になるはず

「被災した避難所にいる住民」 想定を考えて決めてください

- 自分の年齢や性別は？
- 住んでいた町の人口はどのくらいだった？
- 電車や高速道路は通っていた？
- 歯医者は何件くらいあった？総合病院(急性期)もあった？そこには歯科はある？
- 住んでいた家は？戸建て？マンション？何階？
- その被害は？全壊？半壊？インフラだけ？
- 家族はいる？誰がいる？その人たちの被災は？
- (以下、家族も一緒にいる場合は家族についても)
- 自分はどんな仕事をしている？それは今はどうなっている？家族は？
- ごはんは食べられている？その背景は？家族は？
- 自分の健康状態は？家族は？
- 自分の気分や精神状態は？その背景は？家族は？
- 自分は歯みがきしてる／できてる？歯ブラシとかはある？その背景は？家族は？
- 自分の歯や口は汚れている？治療が必要そうな症状はある？家族は？
- 歯科のかかりつけはある？その被災は？無いのはどうして考えた想定は、参考に、終了後
- 前に歯科を受診したのはいつ頃？どんな治療？
- かかりつけや、他の歯医者には行こうと思えばいける？その背景は？

相談はしないで
ひとりで

にいただけるとありがたいです。持ち帰りたい方は、事後アンケートの回答にいらしてください。

相互に個別アセスメントをしましょう

- まずは、ご挨拶、自己紹介
 - 自分は何者か、どこから、何を目的に、今あなたに話しかけているのか
 - そして、これに協力することが、あなたにどういうメリットとなるのか

【個別アセスメント】

【情報提供・助言】

- 協力の御礼と、今後の見込みのコメント

ふたりで、振り返り

5分？

- 聞かれて嫌だったこと、言い方
- 聞いていいか悩んだこと
- どのように聞けばいいか迷ったり困ったりしたこと
- 聞き方を工夫したこと
- 聞いて欲しかった内容
- 挨拶や導入の印象、難しかった点

お互いで、
感じたことを
共有しましょう

本日の演習の達成目標

- 自分／自分の生活圏が被災した時はどうなるのかな？と想定してみる
- 診療室の問診と、住民への話しかけ
- 直近にショックなことを経験し、心配ごとだらけな人に話かける時の配慮を意識する

心理社会的サポート

心理的応急処置(PFA) フィールド・ガイド



- WHO出版
www.who.int
- 3機関の協働
 - World Health Organization
 - War Trauma Foundation
 - World Vision International
- 24の国際機関(UN/NGO)が推奨
- 数カ国語に対応



World Health Organization

WARTRAUMA FOUNDATION



PFA 活動原則

準備	<ul style="list-style-type: none">・ 危機的な出来事について調べる・ その場で利用できるサービスや支援を調べる・ 安全と治安状況について調べる
見る 	<ul style="list-style-type: none">・ 安全確認・ 明らかに急を要する基本的ニーズがある人の確認・ 深刻なストレス反応を示す人の確認
聞く 	<ul style="list-style-type: none">・ 支援が必要と思われる人々に寄り添う・ 必要なものや気がかりなことについてたずねる・ 人々に耳を傾け、気持ちを落ち着かせる手助けをする
つなぐ 	<ul style="list-style-type: none">・ 生きていく上で基本的なニーズが満たされ、サービスが受けられるように手助けをする・ 自分で問題に対処できるように手助けする・ 情報を提供する・ 人々を大切な人や社会的支援と結びつける

災害時こころの情報支援センター資料より引用改変

サイコロジカル・ファーストエイド ポケットガイド

PFA とは

サイコロジカル・ファーストエイド（PFA）は、苦しんでいる人、支援が必要と思われる人に、同じ人間としての人道的な支援の仕方を示しています。

責任をもって PFA を行うとは、次のことを意味します。

1. 安全、尊厳、権利を尊重する
2. 相手の文化を考慮して、それに合わせて行動する
3. その他の緊急対応策を把握する
4. 自分自身のケアを行う



すべきこと

- » 信頼されるように、誠実に接しましょう
- » 自分の意思決定を行う権利を尊重しましょう
- » あなた自身の偏見や先入観を自覚して、それにとらわれないようにしましょう
- » たとえ今は支援を断ったとしても、あとになってから支援を受けることもできることをはっきりと伝えましょう
- » 時と場合に応じて、プライバシーを尊重し、聞いた話については秘密を守りましょう
- » 相手の文化、年齢、性別を考えて、それにふさわしい行いをしましょう

してはならないこと

- » 支援という立場を悪用してはなりません
- » 支援の見返りに金銭や特別扱いを求めてはなりません
- » できない約束をしたり、誤った情報を伝えてはなりません
- » 自分にできることを大げさに言っではなりません
- » 支援を押しついたり、相手の心に踏み込んだり、でしゃばることをしてはなりません
- » 無理に話をさせてはなりません
- » 聞いたことを別の人に話してはなりません
- » 相手の行動や感情から、「こういう人だ」と決めつけてはなりません



NGワード：傷つける言葉

被災地ボランティアが言わない方が良い言葉として、次のような言葉があげられます。

- ・ がんばってください
- ・ 前向きに行きましょう
- ・ 早く忘れましょう
- ・ 泣いてはいけません
- ・ 気持ちはわかります
- ・ 私にはとても耐えられません
- ・ あなたはまだまし

語る側は善意でも、相手を傷つけることがあります。正しい言葉もあるかもしれませんが、苦しい時に正論を聞いても、辛いだけのこともあります。

時には、「被災者」という言葉に傷つくことさえあります。

実際の支援活動にあたり、話す相手

- 被災者
- 避難所の管理者
- 自治体の職員
- 支援を采配している現地の保健医療者

被災しながらも支援にあたる方の多くは
被災者でもある！

常に、誰もが被災者であると考えておく

© 2023 DPHD

災害対策のキーワード

- 普段通り
- 普段をどこに設定するのか
- いかに普段通りをキープするのか

災害対応 → 対策・防災

直接支援
被災者支援

支援者支援
間接支援

災害支援
緊急援助

×

地域支援
地域防災

体制・準備



お近くの方々にも
お伝えください。
配布等に
承諾は不

いつもの生活を
取りもどす！



いつもの生活を
続けられる
準備をしよう！

熊本地震で被災された皆さまへ

いつもの生活を
取りもどすための
役立つ情報まとめ

政府からのお知らせ

2016年4月28日発行
2016年5月12日更新
2016年5月18日更新

誰にでも いつでも 健康で幸せに生活する 機会のある社会を

日本歯科医師会
Japan Dental Association

国民のみなさま

歯科医師のみなさま

日本歯科医師会

歯医者さんに
行こう！

シンポジウム

啓発活動

HOME 会長あいさつ ENGLISH サイト内検索 検索

HOME ▶ 日本歯科医師会の災害歯科医療対策

○ 日本歯科医師会の災害歯科医

動画



災害時の歯みがき方法

活動要領・行動指針・規則
根拠法・協定
共通書式・アクションカード
参考文献
日歯8020テレビ
障害研修ライブラリー
eラーニング

- 全国の歯医者さん検索
- テーマパーク8020
- 日歯8020 (ハチマルニイマル) テレビ
- 歯のみがき方を探そう！
- 歯医者さん

歯8020テレビ

歯とお口の情報

動画で一般向けに平易につくられています
(それぞれ6分ほど)
過去に災害時に地元ケーブルTVで放映されたこともあります

災害時こそ大切！
お口のケア

<1>備えておくこと
<2>自分でできること

歯科訪問診療

ダウンロード 5.9MB | 500KB (52.9MB) | 1.5MB (124MB)

ダウンロード 6.21 | 500KB (52.9MB) | 1.5MB (124MB) | <2>プロの技と熱い思い (63.6MB)

災害時こそ大切！お口のケア

ダウンロード 6.08 | 500KB (50.3MB) | 1.5MB (125MB) | <1>備えておくこと (60.0MB)

ダウンロード 5.38 | 500KB (50.3MB) | 1.5MB (125MB) | <2>自分でできること (67.2MB)

歯科衛生士のお仕事

ダウンロード 5.54 | 500KB (27.1MB) | 1.5MB (65.1MB) | <1>多彩な活躍現場 (65.1MB)

ダウンロード 6.12 | 500KB (28.3MB) | 1.5MB (70.9MB) | <2>他職種との連携 (71.8MB)

ダウンロード 5.41 | 500KB (27.0MB)

No.1906 大規模災害時の歯科的コーディネーター ～最も重要なことは？～

シリーズ No.1906 生涯研修コード 21 | 14

大規模災害時の歯科的コーディネーター

～最も重要なことは？～

東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科 顎顔面外科学分野 助教 中久木 康一¹⁾
東北大学大学院歯学研究科 インターフェイスプロジェクト 支援室 牛島 隆²⁾ / 田上 大輔³⁾
熊本県会員 牛島 隆²⁾ / 田上 大輔³⁾
福岡県会員 太田 秀人⁴⁾

キーワード 災害時歯科保健医療支援 / コーディネーター / 地域保健医療連携

はじめに

◆日本歯科医師会・平成28年熊本地震災害歯科コーディネーター (中久木康一) (図1)

災害時の歯科保健医療支援は、1993年北海道南部沖地震における歯科医療支援より始まり、1995年の阪神淡路大震災において組織的になりました。そして、2004・2007年の新潟県中越・中越沖地震にて災害関連疾病の予防としての口腔ケアが追加され、2011年の東日本大震災においては地域におけるコ

ーディネーターの必要性が、「平成28年熊本地震」においては多職種連携の重要性が付与されてきています。公的支援の枠組みも徐々に整ってきており、この中での歯科保健医療支援のマネジメントは、歯科のみならず、医療多職種、行政職、保健福祉職などの多くの関係者との連携が必要となります。

災害時の歯科保健医療支援のマネジメントには、それぞれの場におけるコーディネーターが連携することが必要とされてきます。今回は、平成28年熊本地震を題材として、歯科におけるコーディネーターについてまとめました。それぞれのコーディネーターとして最も重要なこと、はどのようなことなのでしょうか。

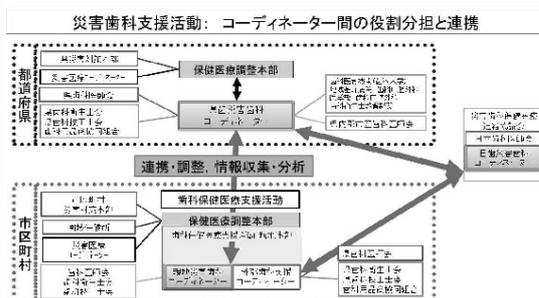


図1 災害歯科支援活動 コーディネーター間の役割分担と連携

No.1906 (令和元年度)

大規模災害時の歯科的コーディネーター

日歯会員の方は無料で受講できるはず
ぜひ、スタッフとともに、
ご視聴ください

日歯Eシステム
生涯研修ライブラリー

令和元年度 日歯生涯研修ライブラリー 1906



共通書式
マニュアル
ポスター

災害時、私たちにできること



被災者の

避難生活で

が生じます。

イ登録の

共通書式などは全て
こちらに載っています
歯科医師もこちらから
ご確認ください

Link 災害歯科保健歯科衛生士登録

被災状況に合わせて歯科衛生士の支援活動を円滑に行うための実践マニュアルです。基本姿勢や平時の備え、現場での具体的な行動手順などをまとめました。

PDF 災害歯科保健活動
歯科衛生士実践マニュアル2021



マスクをしたままできる

お口の体操



～ 唇や舌、頬やのどの筋力アップをすることは全身の健康へとつながります。美味しく安全に食べて健康に過ごしましょう ～



空気を漏らさないようにするのがポイントです！
食前や空き時間に
5回～10回
行いましょう

監修：戸原 宏 教授
東京医科歯科大学
摂食嚥下リハビリテーション学分野
発行：日本歯科衛生士会
制作協力：熊本県歯科衛生士会
イラスト：福岡県歯科衛生士会



歯科衛生士の方へ(ホーム) マスクをしたままできるお口の体操(動画)

マスクをしたままできるお口の体操(動画)



いつかのもしものために、いまできる学びを。



コンテンツ

災害歯科保健 公開中!!

災害が発生したとき、歯科衛生士としてできること、すべきことは。本コンテンツでは、災害支援の枠組みや地域保健活動の概要をはじめ、災害時の役割と歯科衛生士の活動の実際、多職種との連携の取り方などを、幅広くフォローしています。いつかのもしものに備えて、いまできる学びがここにあります。

多彩なテーマが小分けで学びやすい! DH-KENの災害歯科保健

1 災害時の保健医療支援とは		
● 災害と支援の枠組み	奥田 博子	23分
● 災害時の地域保健	奥田 博子	13分
● 災害時の被災者の心理	奥田 博子	23分
2 災害時の歯科支援の仕組み		
● 災害時の歯科の役割と変遷 / 災害支援における歯科衛生士の役割	中久木 康一	15分
● 災害時の歯科衛生士の活動の実際	久保山 裕子	16分
● 災害時の歯科口腔アセスメントの体系化 / 実際(地域)	中久木 康一	13分
● 災害時の歯科口腔アセスメントの実際(個人)	中久木 康一	17分
3 災害時の支援における連携		
● 災害歯科保健活動における多職種との連携	久保山 裕子	23分
● 被災者の心情に配慮した歯科保健活動	中久木 康一	17分
● 災害歯科保健活動における「食べる」支援	中久木 康一	13分

講師 中久木 康一 先生 (東京歯科大学 大学院 歯学研究科 疫学災害医学分野 非常勤講師) | 久保山 裕子 先生 (日本歯科衛生士会 副会長) | 奥田 博子 先生 (山口県歯科大学 健康福祉科学研究科 健康福祉学専攻 上級主任研究員) **総収録時間 約3時間**

価格 歯科衛生士・保健医療介護福祉関係 2,970円 | 日本歯科衛生士会 正会員 1,782円 | 歯科医師・医師・その他 4,455円
全コンテンツが受講できるお得な定期プランもあります



いままぐアクセス! <https://dhken.jp>

DH-KENは 公益社団法人日本歯科医師会 推薦 公益社団法人日本歯科衛生士会 共同開発 のeラーニングサイトです。



DH-KEN

DH-KENは、歯科衛生士のためのeラーニングサイトです。

災害歯科保健

- 災害と支援の枠組み (奥田博子)
- 災害時の地域保健 (奥田博子)
- 災害時の被災者の心理 (奥田博子)
- 災害時の歯科の役割と変遷 / 災害支援における歯科衛生士の役割 (中久木康一)
- 災害時の歯科衛生士の活動の実際 (久保山裕子)
- 災害時の歯科口腔アセスメントの体系化 / 実際(地域) (中久木康一)
- 災害時の歯科口腔アセスメントの実際(個人) (中久木康一)
- 災害歯科保健活動における多職種との連携 (久保山裕子)
- 被災者の心情に配慮した歯科保健活動 (中久木康一)
- 災害歯科保健活動における「食べる」支援 (中久木康一)

これ全て見て学んだ方は、日衛に登録されます

歯科衛生士 2970円

日衛正会員 1782円

歯科医師その他 4455円



公益社団法人 日本歯科衛生士会

English お問い合わせ サイトマップ 会員ページ

一般の方へ

歯科衛生士の方へ

日本歯科衛生学会

組織概要・会長挨拶・各種資料/刊行物DL 委員会 入会案内 研修・学習・認定 歯科衛生だより・学生だより

歯科衛生士の方へ ホーム 災害歯科保健歯科衛生士登録者名簿

災害歯科保健歯科衛生士登録者の紹介

災害歯科保健歯科衛生士登録者名簿

ロジ・コーディネーター任期 令和5年7月1日~令和7年6月30日

長崎県 (28名)

ロジ

岩本 和美

コーディネーター

本田 直子

猪野 恵美

- 小林 泰子 (R2)
- 池田 道子 (R2)
- 三ノ宮 美紀 (R2)
- 松崎 知夏 (R3)
- 川添 朋子 (R3)
- 下瀨 佐都美 (R3)
- 猪野 恵美 (R3)
- 里 美香 (R4)
- 中村 美百花 (R4)
- 下村 信子 (R4)

- 森 結花 (R2)
- 北村 尊子 (R2)
- 森下 有希 (R2)
- 田中 朝子 (R3)
- 堀 奈津子 (R3)
- 岩本 和美 (R3)
- 小出 琴美 (R4)
- 平尾 直美 (R4)
- 谷川 春恵 (R4)

- 佐藤 慶美 (R2)
- 的野 まゆみ (R2)
- 田中 玉美 (R3)
- 大石 佳奈 (R3)
- 一ノ瀬 愛 (R3)
- 本田 直子 (R3)
- 大森 彩 (R4)
- 恒任 日奈子 (R4)
- 北田 章子 (R4)

「災害支援」って何だろう？ ～食べるを支えるために～

「災害」って何ですか？
「災害」とは、自然現象や人為的な原因により、生命や健康、財産に重大な被害が生じ、社会生活に支障を及ぼすことをいいます。

- ① 災害支援の基本を知ろう
- ② 「災害支援」の役割を知ろう
- ③ 災害支援で大切なこと

デンタルハイジーン

災害支援から地域防災へ

「災害支援」って何だろう？
～食べるを支えるために～

「災害」って何ですか？
「災害」とは、自然現象や人為的な原因により、生命や健康、財産に重大な被害が生じ、社会生活に支障を及ぼすことをいいます。

① 災害支援の基本を知ろう

② 「災害支援」の役割を知ろう

③ 災害支援で大切なこと

デンタルハイジーン

災害避難時には、十分な口腔ケアが必要です。

SUNSTAR

災害避難時には、十分な口腔ケアが必要です。

災害避難時には、十分な口腔ケアが必要です。

サンスターは、災害時の口腔ケアの大切さを発信し続けています。

SUNSTAR

サンスターは、災害時の口腔ケアの大切さを発信し続けています。

災害時の口腔ケアの大切さを発信し続けています。



デンタルハイジーン 2018年1～4月

「災害支援」って何だろう？ ～食べるを支えるために～

Support 1

災害支援の基本を知ろう

災害支援とは、被災者に必要な物資やサービスを届けることです。

災害支援の役割

災害支援の重要性

災害対応のしくみと支援の位置づけ

解説

災害対応のしくみ

支援の位置づけ

災害対応のしくみと支援の位置づけ

避難生活において

Support 2

避難生活において

避難生活の注意点

避難生活の準備

避難生活において

解説

避難生活の準備

避難生活の注意点

避難生活の準備

2024.3.31まで無料公開 https://www.ishiyaku.co.jp/pickup/20240111_info_01/20240112_07.pdf

月刊nico 2018年8月号



特別企画 歯科の災害保健医療支援

お口の健康が命を救う!

大規模災害が起こったとき
現地で保健医療支援活動を行うのは、医師の医療者だけではなく、歯科医療者も、歯と口腔の面から被災者のかたちの健康を支えています。

熊本地震で日本歯科医師会の災害歯科コーディネーターを務めた先生にお話をいただきます。

イラスト 大島朝子

中久木康一先生



非常用持ち出袋に入れておきたい オーラルケアグッズ

基本セット

- 歯ブラシ
- 歯間ブラシ・フロス
- 液体ハミガキ
- 口腔ケア用のウェットティッシュ

入れるのに迷ったら……

入れ歯ケースや清掃用品

入れ歯洗浄シート

入れ歯用ブラシ

入れ歯ケース

入れ歯洗浄剤

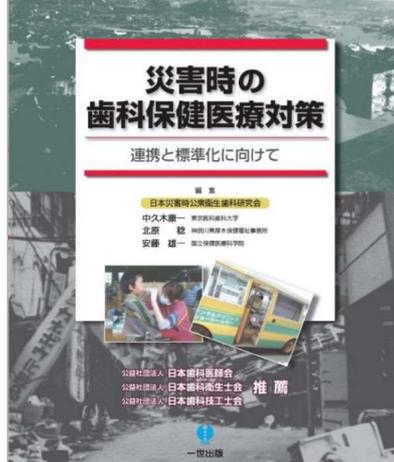
医歯薬出版, 2014年,
3960円



砂書房, 2011年, 3080円



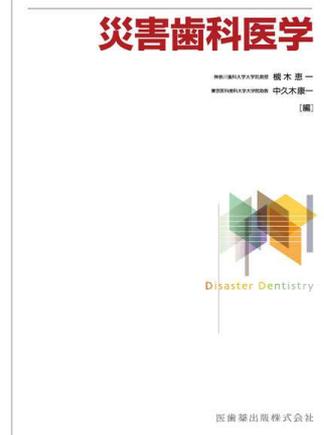
一世出版, 2015年,
2200円



クインテッセンス出版,
2016年, 1980円



医歯薬出版, 2018年,
7200円



一世出版, 2021年, 2900円



令和4年度厚生労働行政推進調査 <http://jsdphd.umin.jp/pdf/22IA2006.nkkk.booklet.4p.pdf>

大規模災害時の 歯科保健医療活動

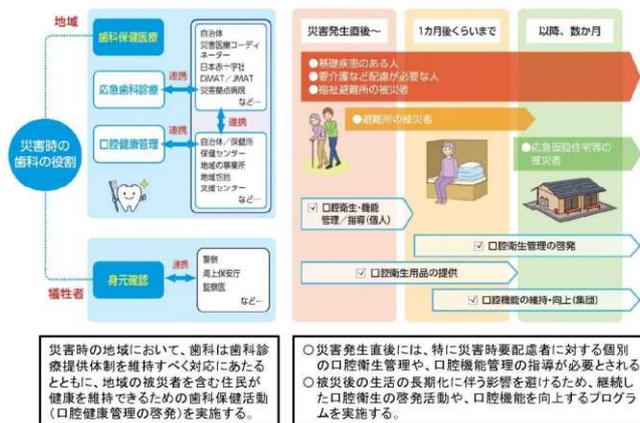
～口腔機能からの健康維持～

災害時には歯科医療機関も通常通りの対応はできませんが、生活環境が整わない避難生活による歯や口の健康被害も生じてきます。

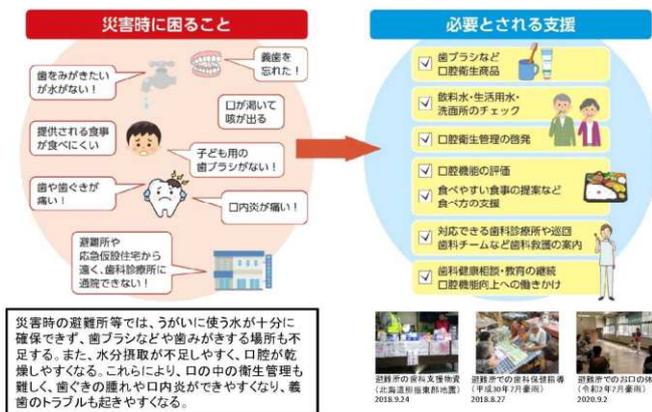
通常の歯科医療提供体制が回復するまでの間の応急歯科診療活動とともに、特に避難生活が困難と考えられる災害時要配慮者の方々に対する口腔衛生管理や口腔機能管理、およびその啓発による歯科保健活動を行い、被災地域で生活される方々の健康管理を行うことが必要です。

大規模災害時には、必要に応じて県外からの歯科チームも含めて、自治体や保健所の管理のもとでの活動が行われます。

災害時の地域における歯科の役割は「応急歯科診療」と「口腔健康管理」



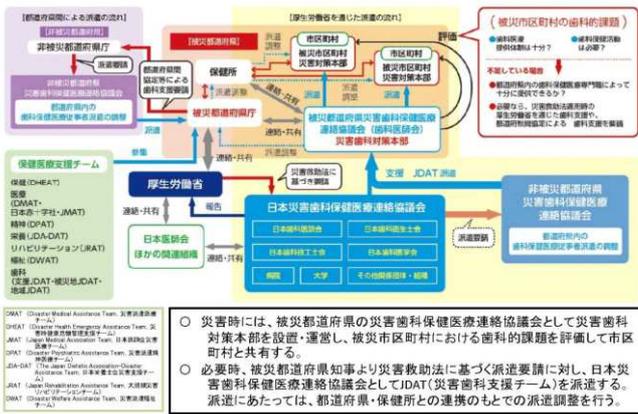
災害時の歯科保健医療のチェックポイント



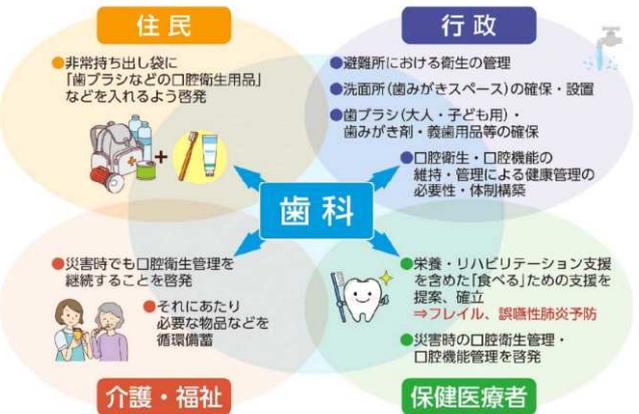
被災後の時間経過と地域歯科支援の推移



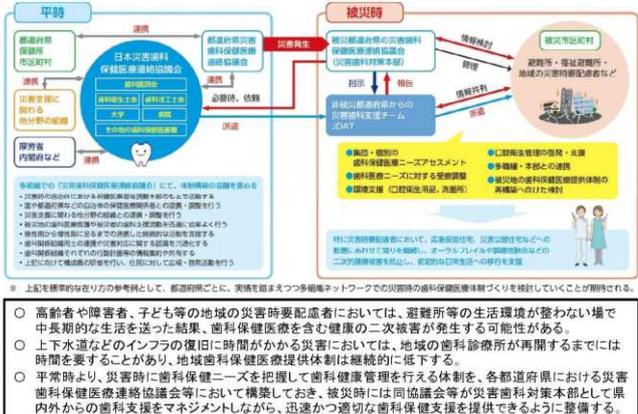
災害時の歯科保健医療支援派遣の仕組み



災害時のために歯科がしておくべきこと



平時からの災害時の歯科保健支援体制の整備が重要



災害時の避難所等における歯科活動には、自治体や保健所のみならず、多くの保健医療/介護福祉専門職・チームとの連携が欠かせません。また、適切に支援を提供するためには、時間とともに移動し、そして変化していく人々のニーズを、偏りなく迅速に把握して評価し続けることが必要とされます。

多職種・多組織での支援にあたり、評価や支援を効率化し、実効性の高い支援に結び付けることが大切であり、そのための体制を地域ごとに整備しておくことが必要となります。更には、その体制を災害発生直後から迅速に移動させるためには、平時からの研修や訓練、または備蓄やシステムなどが必要となります。

もちろん、公助が届くまでの時間は、自助・共助で対応いただくしかありません。住民も含めて災害時の健康管理の重要性を理解し、自分で動ける住民は災害時にも自分の健康管理を継続できる準備を意識していただくような、働きかけることも大切です。

厚生労働行政推進調査事業費補助金研究事業(22IA2006)
自治体における災害時の歯科保健活動推進のための活動指針作成に向けた研究
東京医科大学救急災害医学分野 / 日本災害時公衆衛生歯科研究会
中久木 康一 nakaku@biglobe.jp / jsdphd-admin@umin.org

平成30年度～令和4年度 JSPS科研費

<http://jsdphd.umin.jp/pdf/19K10420.nkkk.4p.pdf>

大規模災害時には「食べる」支援の連携が必要

歯科保健医療と栄養・リハビリテーションなどの様々な専門家が連携することで被災者の「食べる」に関わることをサポートし、健康を守ります。



「食べる」支援とは?

- 口腔・食事の調達と提供
- 口腔ケア
- 咀嚼の確立
- 嚥下リハビリテーション
- 食べる意欲の回復
- 食事をとる場所・テーブルや椅子などの確保
- 食器やカトラリーなどの確保
- 特性に合わせた特殊食品や栄養の確保
- 適切な食事の形態の維持

【災害時要配慮者に対する多職種が連携した「食べる」支援体制の構築】 研究員 JSPS 科研費 19K10420

災害時に歯科がすべきこと

1 災害時地域歯科保健医療体制への支援

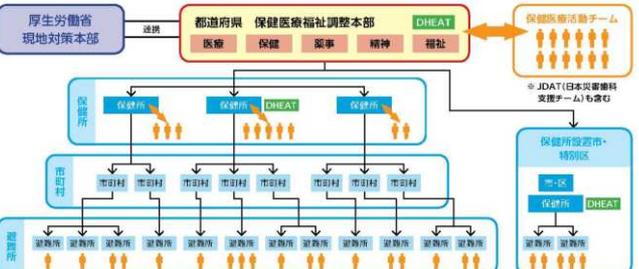
活動内容	目的
①地域の歯科専門職によって行われる歯科保健医療活動の維持・回復を図る。	● 歯科疾患・口腔感染症と誤嚥性肺炎の予防
②避難所での被災者の歯科保健を管理し、被災者の健康を守る。	● 口から「食べる」ことを守る
③要介護や要配慮者の口腔衛生の管理を行なう。	● 口腔機能の保持

被災後の時間経過と地域歯科支援の推移



外部からの支援チームは都道府県から調整のうえ派遣

大規模災害時の保健医療福祉活動の応援派遣システム



2 「食べる」ための支援

～栄養やリハビリテーションとの連携も大切～



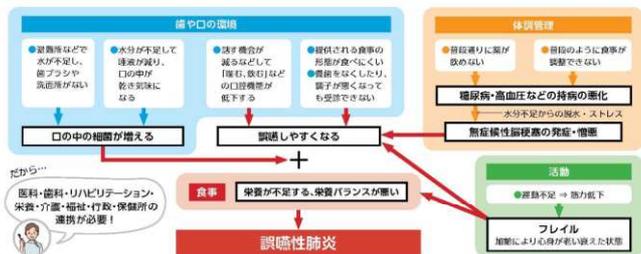
大規模災害における
災害関連死に占める
呼吸器疾患の割合

約1割
30%
程度

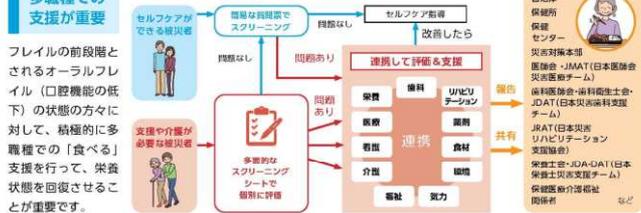
- 誤嚥性肺炎などの呼吸器感染症は、災害前後に多く発生。
- 入院や死亡は、2週間後をピークに3ヵ月間は増加。
- 罹病などの改善とともに減少。

災害直後からの
対策が必要

災害時に誤嚥性肺炎が発生しやすくなる理由



多職種での支援が重要



生活全般の課題の評価を「食べる」支援に関わる多職種が共通で行い、継続的に共有
⇒被災者の負担が少なく、迅速に「食べる」配慮が必要な方々を把握し、効果的に連携をもって支援できます。

- 口腔機能維持のためにはお口の体操が効果的です！
- お口の体操をするため、お口の体操をやるよう、促しましょう。
- 各自の非常時持ち出し袋に備えを！
- 通常の防災用品以外に、口腔ケア用品を備えるよう促しましょう。
- 歯ブラシ
- 歯間ブラシ
- デンタルフロス
- 液体やフォームの歯みがき剤
- 口腔ケア用エッセンス
- 入れ歯洗浄剤、入れ歯ケース

大規模災害時の歯科の支援と「食べる」支援の連携

災害後のフェーズ	フェーズ1	フェーズ1～2	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4
緊急対策 - 生命・安全の確保 -	緊急対策から 応急対策への移行期	応急対策 - 生活の安定 - (災害救助法適用)	応急対策 - 生活の安定 - (災害救助法適用)	応急対策 - 生活の安定 - (災害救助法適用)	復旧・復興対策期
歯科の対応	● 医師連携、口腔ケア ● 会議出席、主に医療との連携 ● 歯科医療機関の被災と活動状況の把握	● 必要に応じて歯科救護所設置 ● 避難所・地域(施設・在宅)生活者への個別アセスメント ● 会議出席、更に保健との連携	● 避難所での歯科保健活動 ● 避難所・地域(施設・在宅)生活者への個別アセスメント ● 必要に応じて個別の口腔ケア支援 ● 会議出席、更に栄養・リハビリテーションと連携した「食べる」支援へ	● 必要に応じて仮設歯科診療所の設置 ● 地域歯科専門職へ引き継ぎ ● 更に介護福祉との連携	● 地域歯科専門職による、継続的な地域歯科保健活動へ移行
連携先	自治体、保健所 DMAT 日本赤十字社	自治体、保健所 DHEAT JMAT DPAAT その他の医療チーム	自治体、保健所 保健師チーム こころのケアチーム JDA-DAT JRAT	自治体 保健師等チーム こころのケアチーム DWAT	自治体 復旧リハビリテーション 被災地支援センター 被災地自治体
他職種との連携内容	● 歯みがき、口腔ケアの啓発(ポスター掲示など) ● 歯みがき、口腔ケアの物資や施設の確保(歯ブラシなど、要介護者の介助)	● 個別対応時、口腔衛生と健康との関係も情報提供・指導 ● 食が進まない、腹痛が難しいなどの場合に、歯や口に問題がないかを確認	● フレイルの予防 ● 誤嚥性肺炎の予防 ● 口腔機能の保持		● かかりつけ歯科医への定期受診の促進

災害時の歯科保健医療救護に関する規定

平時時の準備や防災 | 災害時の医療対応

災害対策基本法：地域防災計画・災害時医療救護計画 | 医療法：5 事業の「災害時における医療」

運用

「災害時の歯科保健医療救護に関する協定書」(都道府県-都道府県歯科医師会など)

大規模災害時の歯科口腔保健 | 被災時の医療支援(応援)

歯科口腔保健の推進に関する法律 | 災害救助法：「医師」が適応の間、災害発生日から14日以内(+延長)

参考資料：
大規模災害時の保健医療救護活動に係る体制の整備について、厚生労働省合同通知、2022年7月22日
災害時の保健活動推進マニュアル(地域保健部会推進事業)、全国保健師団、2019
災害時保健医療連携マニュアル、一冊出版、2021
JDAT(Japan Dental Alliance Team)：日本災害時歯科支援チーム)活動要領、日本歯科医師会・日本災害時保健医療連携部会、2022
災害時保健医療連携 歯科衛生士実務マニュアル、日本歯科衛生士会、2022
東京医科大学大救急災害医学分科/日本災害時公衆衛生歯科研究会 中久木 肇 nakakuki@iglobe.jp jsdphd-admin@umin.org

日本災害時公衆衛生歯科研究会
http://jsdphd.umin.jp/



日本災害時公衆衛生歯科研究会
Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (D)

メーリングリスト
各種書式・パンフレット
研修媒体動画
研修会資料・動画

ポスター・パンフレット | 記録票・資料 | 研修教材 | 研修会記録 | 書籍・報告書 | ML登録

書籍・研究報告書など

研修会動画・配布資料など

研修動画・活動動画・研修準備資料など

アセスメント票・アクションカード・パンフ・ポスターなど

目的
災害時に歯科口腔保健に必要な...
について検討し、必要な場所に、必要な時に、必要な歯科口腔支援を届けるため、具体的・実践的な...
個人が集まり、よりよい災害時公衆衛生歯科のための提言を出し、それを広めるた

意義や目的として、下記などがあげられる。

- 1) 災害時の歯科保健の標準化などの提案を出していくシクタリ
- 2) 災害時の多職種連携での対応のあり方を探り体制を構築して
- 3) 研修の題材やスタイルを作成し、それを試行し完成させてい
- 4) 必要であれば出張研修の依頼を受ける母体

2015年6月15日発刊
一世出版
A3判 2000円

日本災害時公衆衛生歯科研究会 ML登録係
jsdphd-admin@umin.net

災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

●災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

※YouTubeにリンクが飛びます



	<p>○ 災害歯科 個別複数アセス記載 セルフワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別複数アセス記載 アセスメント全体の概要 ・個別複数アセス記載 セルフワーク事前解説 ・個別複数アセス記載 事例1+事例1の解説 ・個別複数アセス記載 事例2+事例2の解説 ・個別複数アセス記載 記載の注意事項
	<p>○ 災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Scene 1 高齢の女性 ・Scene 2 幼児がいる女性 ・Scene 3 歯が痛い男性 ・Scene 4 高齢の母とその娘 ・Scene 5 じっとしている男性 ・Scene 6 高齢者の介護者
	<p>○ 活動記録紹介動画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年 熊本地震 ・2017年 九州北部豪雨

日本歯科衛生士会
協力

動画 5分
1カ月の活動の流れ

動画 10分
組織的間の役割分担や準備

☰ YouTube JP

🔍
🔊
🏠
🔔
👤 k

災害時の避難所における
歯科保健医療 個別アセスメント

Scene 1
~高齢の女性~

災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント

災害歯科保健 Disaster Oral Health

6本の動画 975回視聴 最終更新日: 2020/03/23

- 1

災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント
Scene 1 高齢の女性

災害歯科保健 Disaster Oral Health • 638 回視聴 • 3年前
- 2

災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント
Scene 2 幼児がいる女性

災害歯科保健 Disaster Oral Health • 353 回視聴 • 3年前
- 3

災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント
Scene 3 歯が痛い男性

災害歯科保健 Disaster Oral Health • 278 回視聴 • 3年前
- 4

災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント
Scene 5 じっとしている男性

災害歯科保健 Disaster Oral Health • 250 回視聴 • 3年前
- 5

災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント
Scene 4 高齢の母とその娘

災害歯科保健 Disaster Oral Health • 219 回視聴 • 3年前
- 6

災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント
Scene 6 高齢者の介護者

災害歯科保健 Disaster Oral Health • 196 回視聴 • 3年前